

大学IRの役割と 『知の総和』答申 で期待されているIR

2026

9.4 金
10:00 - 12:00

会場 福井大学 文京キャンパス 工学系2号館

223L講義室

Zoomによるオンライン配信あり

松岡キャンパス配信会場：管理棟3階大会議室

本講演では、大学の意思決定をデータに基づいて支援するIR（Institutional Research）の基本的な役割と、その背景にある考え方を整理したうえで、中央教育審議会「知の総和」答申が示す高等教育改革の方向性と、今後のIRに期待される役割を解説します。教育の質保証や学修成果の可視化、地域連携、大学経営へのデータ活用など、政策動向を踏まえたIRの展望を示すとともに、IR担当者に求められる統計的な基礎知識やデータに基づく意思決定の考え方を紹介します。さらに、生成AIをIR業務へ適切に導入するため、業務の性質に応じた活用分類と、人とAIの役割分担、一次資料の確認や検証責任などの活用指針についても解説します。

講師

東京科学大学

戦略本部 IR部門 部門長・教授

もり まさお
森 雅生 氏



1996年 九州大学総合理工学研究科 博士後期課程単位取得後退学後、博士（情報科学）取得。同大学システム情報科学研究院助手を経て、同大学評価情報室助教・准教授にて大学評価・IRの研究と業務に従事。2015年より東京工業大学にて情報活用IR室専任教授着任、現在に至る。大学IRの普及と発展を目的に、大学情報・機関調査研究会（MJIR）および国際会議 International Conference on Data Science and Institutional Research（DSIR）を設立。2019年、日本インスティテューショナル・リサーチ協会を有志と設立し、会長・理事としてIRの普及活動へ貢献。

教員と職員
両方対象の
セミナーです！